

## 漢方シンポジウム2022 「漢方を知りたい」～ゆかりの地 奈良から～

2022年10月22日(土)、奈良県文化会館 国際ホールにて、奈良県主催の「漢方シンポジウム2022」が開催された。奈良は、古くは推古天皇の時代に薬猟りが行われ、今なお多くの薬用植物を産する地であり、奈良で立ち上げた「漢方のメッカ推進プロジェクト」の内容も紹介された。



本シンポジウムは、3名のシンポジストの方が漢方や生薬、そして薬用植物について講演され、その中で日漢協として、国内における薬用作物生産を拡大・推進するための取り組みや、「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」について紹介した。

### 講演1 「国内における薬用作物生産の取り組み」

日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班 班長 小柳 裕和氏

### 講演2 「漢方の将来ビジョンにおける日本漢方生薬製剤協会の取り組み」

日本漢方生薬製剤協会 国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会  
提言実現プロジェクトリーダー 味岡 賢士氏

### 講演3 「奈良県プロジェクトの目指す未来 臨床漢方の可能性」

奈良県立医科大学 大和漢方医学薬学センター 特任教授 三谷 和男先生

会場には消費者の方も多く参加されていた。最後の質疑応答ではさまざまな質問があり、漢方薬や生薬に対する興味の深さを感じた。